

Day 2 4：真理によって造り変えられる

「もしあなたがたがわたしの言葉にとどまっているなら、あなたがたは確かにわたしの弟子です。

そして、あなたがたは真理を知るようになり、真理はあなたがたを自由にするのです。」

(ヨハネ 8：31 - 32、KJV)

キリストの似姿に成長する過程は、今まで信じてきた偽りを聖書の真理と置き換えていく過程といえます。聖書は、キリスト教教理を学ぶ参考書以上のものですし、他のいかなる名言とも違っていています。御言葉は生きており、命を生み出し、変化をもたらし、傷を癒し、誘惑に打ち勝たせ、悪魔を恐れおののかせ、無から有を造りだし、私達の将来を永遠に保証するものです。そして何よりも、神様の御言葉はあなたの生活と成長に欠かせない食べ物であるのです。キリストのようになるためには、私達の生活が御言葉によって満たされなければなりません。多くのクリスチャンが本棚に聖書を飾っているために、霊的な食物を得られず、霊的栄養失調状態にあります。健全に成長するためには、神様の御言葉によって生きることを最優先させなければなりません。イエス様が「御言葉にとどまりなさい」と言われたとき、次の3つのことを示唆されました。

**聖書の権威を受け入れる**：聖書はあなたの生活にどれほどの決定権をもっているのでしょうか？聖書の権威を受け入れるとは、聖書があなたの方向性を知るためのコンパスとなり、賢く決断するための相談役となり、あらゆることに対する基標となるということです。しばし私たちは、文化（皆がやっていること）、伝統（今までのやり方）、論理（筋が通っているかどうか）、感情（正しいように感じられるから）などに頼って物事を判断していますが、今、「人生における最終的な権威をどこに求めるか」という問題に決着をつけましょう。聖書をあなたの最終的権威として認めるときに、文化、伝統、論理、感情が何と言おうとも、「神様は何と語られたか」ということに踏みとどまって、従うようになるのです。

**聖書の真理を自分のものとする**：聖書の言葉を信じるだけでなく、聖書の御言葉で自分の心を満たさなければなりません。そのためには5つの方法があります。第一に、心を開いて御言葉に耳を傾け、しっかりと「受け止める」ことです。私達の心は閉ざされていたり、表面的であったり、気が散りやすいものであるため、イエス様は「聞き方に十分注意なさい」といわれたのです。第二に、聖書を継続的に「読む」ことです。一日に15分聖書を読めば、一年で聖書を通読することが可能です。聖書を身近な場所に置き、通読計画を立てて継続的に読み続けることをお勧めします。第三は、聖書を「研究する（学ぶ）」ことです。読んだ聖書箇所について「誰が、いつ、どこで、何を、どうして、どのように、」といった単純な質問をし、自分の考えを書き留めます。第四は、御言葉を「覚える」ことです。神様の御言葉を暗記することで、誘惑に対抗する力や賢い判断力を得ることが出来ます。今まで読んできた聖書箇所でも心に迫ってきたものを選び出し、小さなカードに書きとめ、それを一日のうちで空いた時間に声に出して復習するのです。第五の方法は、御言葉を「思いめぐらす」ことです。ある聖句を選んだら、それを心の中で何度も繰り返し、心を集中して考えるのです。黙想はあなたの人生を最も変化させます。

**聖書の原則を適用する**：私たちがいくら御言葉を受け入れ、読み、研究したとしても、実践しなければ全く役に立ちません。御言葉は私達を自由にしますが、私達の動機・失敗・罪を指摘するため、あなたを悔みな気持ちにさせるかもしれません。具体的な真理の適用の仕方をスモールグループで互いに学びあうことを勧めます。また、聖書をよんだ後に、自分が具体的にいつ何を実践するか書きとめる習慣をつけましょう。「聖書が与えられているのは、知識を増やすためではなく、人生を変えるためなのです」(D.L.ムーディー)

今日のポイント：真理は私を造り変えます。

考えてみましょう：神様が聖書を通してすでに語っておられるのに、まだ取り掛かっていないことは何でしょうか？